

JALグループ、2004年度の路線便数・機材計画を策定

2004年1月22日

第 03131号

JALグループはこの度、2004年度の路線便数・機材計画を策定しました。

2004年度JALグループ事業会社再編により、国際線はJALインターナショナル、国内線はJALジャパンに集約され、完全統合を迎えます。2004年度の路線便数計画におき、国際線については確実な需要回復基調を捉え、成長性を見込める中国路線の積極的な路線展開を図るとともに、2005年2月に予定されている中部国際空港開港を機に、欧州路線の新規開設に加え、中国・アジア路線のさらなる拡充を図ります。一方、国内旅客需要は、JAL・JAS統合による、利便性の向上もあり、堅調に推移してまいりました。2004年度におきましても、安全運航を第一とし、日本最大のネットワーク、利便性の高いスケジュール、「親しみやすくあたたかい」おもてなし等、質・量と総合して世界のトップクラスの航空会社グループを目指して、サービスの改善と、効率的な事業運営に努めて参ります。

路線便数・機材計画の概要は以下の通りです。尚、当計画は関係官庁の許認可取得を受けて実施します。

【2004年度路線便数・機材計画の概要】

I. 国際線

1. 中国路線

東京＝杭州線、大阪＝杭州線の新規路線開設、大阪＝青島線の自主運航を開始します。JALグループの中国路線は、12都市、26路線、週間216便となり、日本一のネットワークをさらに拡大致します。

(1)旅客便

- | | |
|---------|--|
| 1)東京＝杭州 | 2004年3月28日より、週5便で開設します。 |
| 2)大阪＝杭州 | 2004年3月28日より、週2便で開設します。 |
| 3)東京＝青島 | 週1便増便して週5便とします。 |
| 4)大阪＝青島 | 自主運航便を週2便で開設し、* ¹ MU運航のC/S便と併せて週4便とします。 |
| 5)大阪＝広州 | 自主運航便を週2便増便して週7便とし* ² CZ運航のC/S便と併せて週14便とします。 |
| 6)大阪＝昆明 | 2004年3月25日にてJAS運航便 週2便を休止し、3月30日より* ¹ MU運航のC/S 週2便に変更します。 |

7) 札幌＝上海

*¹MU運航のC/S便を週1便増便して週3便とします。

なおJAS運航(JAL C/S)による、東京＝上海、東京＝広州、大阪＝広州、東京＝西安の4路線は、4月1日よりJALインターナショナル運航となります。

(2)貨物便

1)東京＝上海

週1便増便し週5便とします。(4－10月、12月、3月)

2. 中部国際空港関連路線

2005年2月17日に供用開始予定の中部国際空港においては、現行の名古屋発着便を継続すると共に、下記の路線強化を図ります。また、中国線の新規路線開設等を含め、引き続きネットワーク拡大に努めます。

(1)旅客便

1)名古屋＝パリ

週7便(B777-200ER)で開設し、*³AFとコードシェアを実施します。

2)名古屋＝バンコク

週3便増便して週7便とします。

3)名古屋＝プサン

週3便増便して週7便とします。

(2)貨物便

1)香港－名古屋－米国

太平洋線組換えにより週3便(B747-200F)で開設します。

2)香港－名古屋－東京

現行通り週1便とし、12月からB747-400Fを導入します。

3. その他

アジア需要の需要回復を捉え大阪＝ハノイ線、福岡＝ホーチミンシティ線の新規路線開設を含むベトナム線、インドネシア線の増強を図ります。

(1)旅客便

1)東京＝ハノイ

自主運航便を週1便減便して週2便とし、*⁴VN運航C/S便と併せて週6便とします。

2)大阪＝ハノイ

週2便で開設します。

3)東京＝ホーチミンシティ

自主運航便を週1便増便して週5便とし、*⁴VN運航C/S便と併せて東京発を週12便、ホーチミンシティ発を週7便とします。

4)大阪＝ホーチミンシティ

自主運航便を週1便減便して週2便とし、*⁴VN運航C/S便と併せて週7便とします。

5)福岡＝ホーチミンシティ 週3便(*⁴VN運航のC/S)で開設します。

6)東京＝ジャカルタ

ジャカルタとデンパサールを分離し、それぞれ週7便とします。

7)東京＝デンパサール

8)東京＝ニューヨーク＝サンパウロ 現行と同様に、週3便(内、名古屋離発着1便)とします。

9)大阪＝パリ

2005年2月14日にて自主運航便を休止し、*³AF運航C/Sによる週7便とします。

10)大阪＝ソウル

大型化の上週7便減便して週7便とします。

11)小松＝ソウル

週1便増便して週4便とします。

12)広島＝ソウル

週1便減便して週3便とします。

13)東京＝パペーテ

*⁵TN運航によるC/Sで3便(内、往路大阪経由1便)にて開設します。

東京－大阪－パ
ペーテ－東京

(2)貨物便

1)東京＝アンカレジ＝
ロンドン

2004年11月より週3便をB747-400F運航とします。

2)東京＝アンカレジ＝
フランクフルト

2004年12月より週3便をB747-400F運航とします。

C/S:コードシェア *¹MU:中国東方航空 *²CZ:中国南方航空 *³AF:エールフランス航空 *⁴VN:ベトナム航空
*⁵TN:エアタヒチ・ヌイ

Ⅱ. 国内線

完全統合を迎える本年2004年4月には全ての商品・サービスをJALブランドに統一することにより、各種サービスを更に深化させ、より「親しみやすく、温かい」サービスを体系化します。

具体的には、

- ・これまでJAL便名、JAS便名で運航していました便はJAL便名に統一します。
- ・国内線の便名を4桁化し、地区毎の「わかりやすい」便名体系にします。
- ・予約窓口や空港のカウンターもJALブランドに統一します。

「日本最大の航空ネットワーク」をベースにして、お客様の声や需要動向に合わせた、ダイヤ改善を行うと同時に、以下の路線を増便することを計画しています。

1)羽田路線

- 羽田～札幌 1便増便して毎日22便とします。
- 羽田～福岡 1便増便して毎日21便とします。

2)名古屋路線

- 名古屋～福岡 3便増便して毎日8便とします。
- 名古屋～札幌 1便増便して毎日6便とします。

3)仙台路線

- 仙台～札幌 2便増便して毎日5便とします。

Ⅲ. 機材計画

2004年度末におけるJALグループの稼動機材数は、2003年度末と同数の275機です。

【2004年度機材退役・導入計画】

退役	MD11	3機	DC10	4機	A300	3機
	YS11	2機				
導入	B777-200ER	3機	B777-300ER	2機	B767-300ER	4機
	Dash-8 Q400	1機	B747-400F	2機		

以 上